

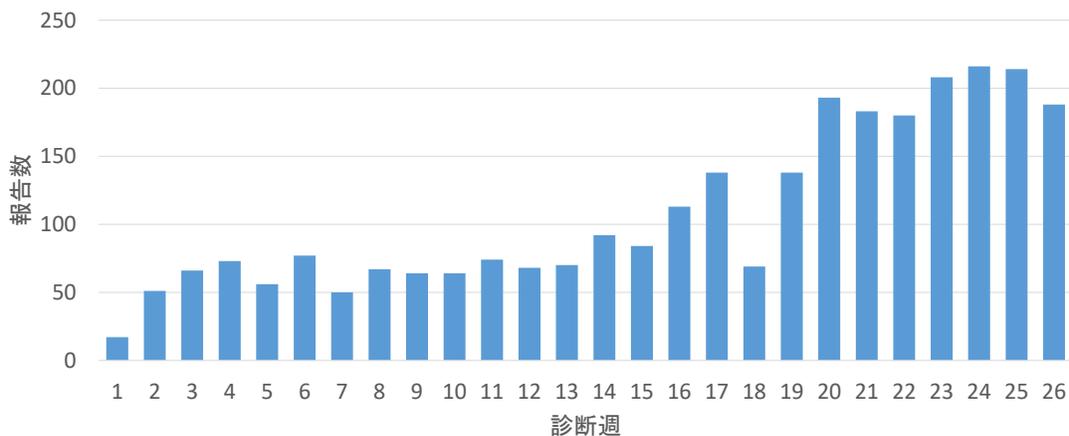
2018年第1週から第26週^(*)までにNESID に報告された百日咳患者のまとめ

2018年第26週週報データ集計時点

国立感染症研究所

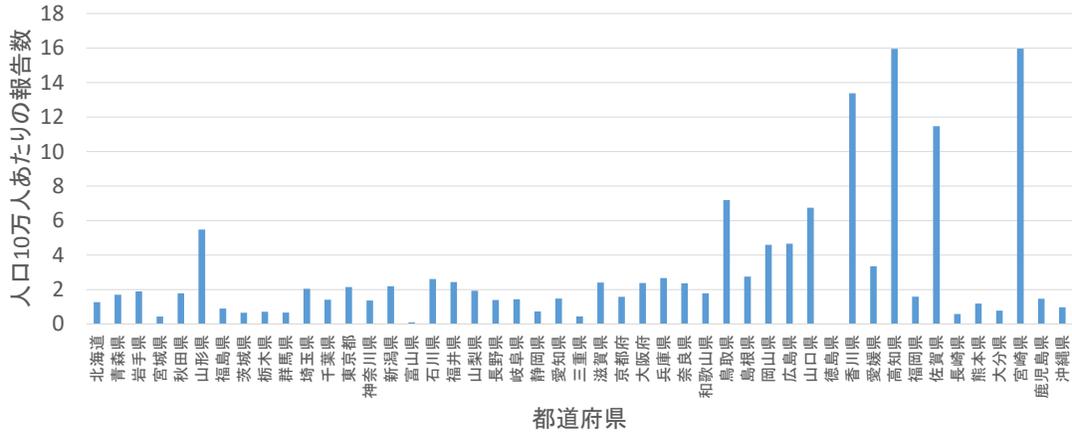
(*)第1週～第26週(2018年1月1日～7月1日)

診断週別全百日咳患者報告数 (2018年第1週～第26週)(n=2,813)



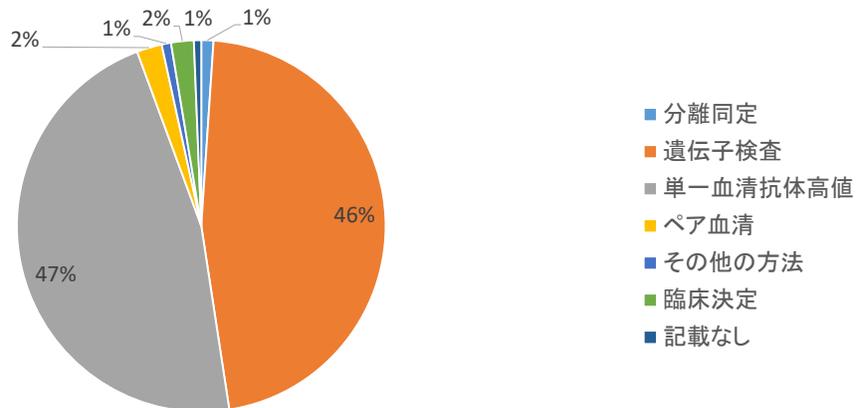
週の平均報告数:108例(範囲:17~216例)

人口10万人あたりの都道府県別百日咳 報告患者数(2018年第1週～第26週)(n=2,813)



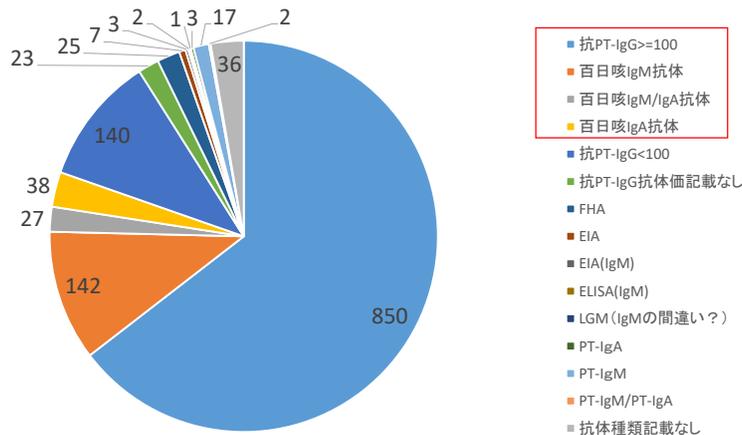
総務省統計局 2016年10月1日現在人口に基づき算出

百日咳報告患者の診断方法 (2018年第1週～第26週)(n=2,813)



複数の検査法の記載がある場合、分離同定→遺伝子検査→ペア血清→単一血清抗体価高値の順に一つの診断法を決定
例) 分離同定と単一血清抗体価高値の記載がある場合には、分離同定を診断法とする

「単一血清の抗体価高値」を診断根拠に届けられた百日咳報告患者(n=1,316)の検査結果内訳

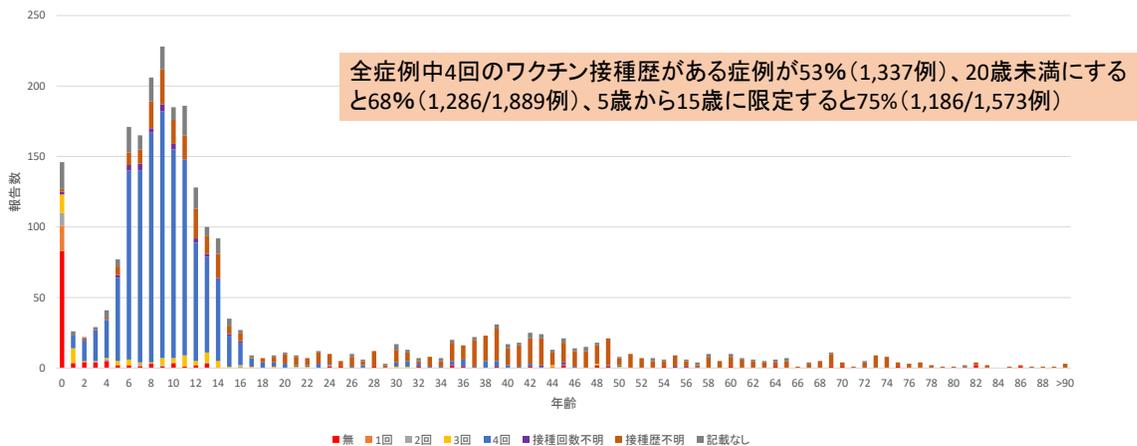


報告の約80%が届出ガイドライン*の診断基準を満たしていた(赤い四角の枠内)

(*百日咳 感染症法に基づく医師届出ガイドライン(初版))

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/610-disease-based/ha/pertussis/idsc/7994-pertussis-guideline-180425.html>

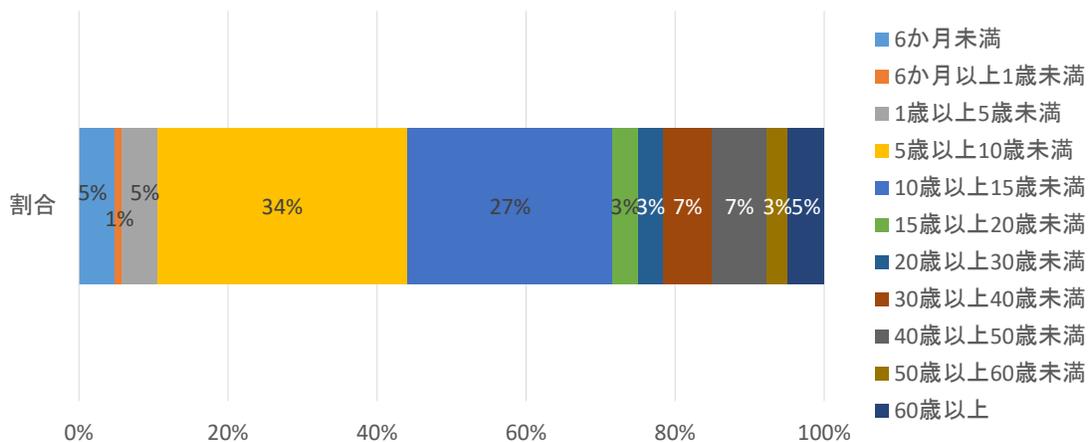
届出ガイドラインの診断基準を満たした百日咳患者症例(*) (n=2,517)の年齢分布(2018年第1週~第26週)



(*百日咳 感染症法に基づく医師届出ガイドライン(初版)に則った症例のみを抽出)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/610-disease-based/ha/pertussis/idsc/7994-pertussis-guideline-180425.html>

届出ガイドラインの診断基準を満たした百日咳患者症例(*) (n=2,517)の各年齢群の割合(2018年第1週～第26週)



(*)百日咳 感染症法に基づく医師届出ガイドライン(初版)に則った症例のみを抽出

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/610-disease-based/ha/pertussis/idsc/7994-pertussis-guideline-180425.html>

6か月未満百日咳患者の月齢分布並びに 予防接種歴(※)(2017第1週～第26週)(n=125)

月齢	N	%
<1か月	7	6
1-2か月	32	26
2-3か月	30	24
3-4か月	30	24
4-5か月	19	15
5-6か月	7	6
計	125	

予防接種歴	N	割合
なし**	89	71
1回	21	17
2回	3	2
3回	2	2
不明	10	8

(**) 予防接種歴記載なしのうち6例は3か月未満

(※) 問合せから得られた情報を含む

6か月未満百日咳患者の臨床症状・経過 (※) (2017第1週～第26週) (n=125)

● NESID記載の症状

症状	N	%
無呼吸発作	24	19
チアノーゼ	40	32
肺炎	11	9
脳症	0	0

● 詳細の得られた102例の経過

経過	N	%
入院	74	73
気管内挿管	3	3
死亡	0	0

(※) 問合せから得られた情報を含む

6か月未満症例の感染経路(重複あり) (※) (2017第1週～第26週) (n=125)

推定感染経路 (重複あり)	N	割合
母親	28	22
父親	24	19
同胞	38	30
祖父母	8	6
その他	8	6
不明	42	34

その他の内訳: 叔母(4)、叔父、いとこ、同胞
が通う保育園の保育士、記載なし
不明のうち10例は周囲に咳症状の者あり

(※) 問合せから得られた情報を含む

同胞の年齢	N	%
2歳	4	11
3歳	3	8
4歳	2	5
5歳	1	3
6歳	2	5
7歳	4	11
8歳	2	5
9歳	1	3
10	1	3
11歳以上	2	5
兄弟複数	3	8
不明	13	34
計	38	

生後6か月以上で入院歴の記載のあった百日咳症例 の年齢分布・診断方法 (n=14^(※))

(※他疾患で入院の記載のあった4例を除く)

	遺伝子検査	単一血清抗体価高値	総計
6か月以上1歳未満	1	2	3
1歳以上5歳未満		1	1
5歳以上10歳未満	1		1
10歳以上15歳未満		3	3
15歳以上20歳未満			
20歳以上30歳未満			
30歳以上40歳未満			
40歳以上50歳未満		2	2
50歳以上60歳未満		2	2
60歳以上	1	1	2
総計	3	11	14

全例届出ガイドラインの基準を満たしている

生後6か月以上で入院歴の記載のあった百日咳症例 の予防接種歴・症状 (n=14^(※))

(※他疾患で入院の記載のあった4例を除く)

予防接種歴	N	割合
なし	0	0
1回	0	0
2回	1	7
3回	2	14
4回	3	21
不明	8	57

症状	N	%
無呼吸発作	1	7
チアノーゼ	0	0
肺炎	5	36
脳症	0	0

今回のまとめ

- 全数報告が開始され半年が経過した時点での百日咳報告患者についてまとめた
 - 全報告百日咳患者数 2,813例
 - 届出基準を満たした百日咳患者数 2,517例
 - うち4回のDTPワクチン接種歴有の割合 53% (5~15歳に限定すると75%)
 - 入院例 88例 (うち74例が6か月未満児)
- 6か月未満、9歳をピークとした5~15歳、30~40台に患者集積あり
- 小児ではLAMP法による診断の割合が高いが、成人では単一血清抗体価による診断の割合が高い

【参考】百日咳 感染症法に基づく医師届出ガイドライン(初版)

- 感染研のホームページをご覧ください
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/610-disease-based/ha/pertussis/idsc/7994-pertussis-guideline-180425.html>
- 届出ガイドラインは保健所に届け出る基準を示しており、臨床診断を目的としたガイドラインではない
⇒統一した基準で全国の百日咳の疫学情報を収集する目的
- 届出ガイドラインを満たさない百日咳症例(臨床診断例)もあり得る(治療や感染拡大防止策は同じ)